

平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立南葛飾高等学校		定時制課程	教育課程の特徴	学校設定教科・科目「人権」「総合演劇」「朝鮮語」を中心に同和教育を柱とした人権教育を推進										
		「じっくりしっかり4年間」 ～南定は生徒一人ひとりを大切にします！～				基	進路指導	実績	四年制大	2%	短期大	0%	専門学校	12%	就職	59%
基本情報	所在地	〒124-0012 葛飾区立石六丁目4番1号		電話番号	03-3691-8476	本	主な部活動	陸上競技部、バドミントン部、卓球部、柔道部、サッカー部、軟式野球部、演劇部、軽音楽部、手話研究部、外国文化研究会、部落問題研究部ほか								
	アクセス	(1) 京成押上線立石駅徒歩10分、京成本線お花茶屋駅・青砥駅各徒歩12分 (2) 東京メトロ千代田線亀有駅から京成バス新小岩駅行「葛飾区役所」下車徒歩2分 (3) JR総武線新小岩駅から京成バス亀有駅行「葛飾区役所」下車徒歩2分				情	学校評価	学校生活が充実していると思う生徒71%、教員が生徒の気持ちを理解していると考える生徒73%								
	学科	普通科				報	入学選抜	募集員	60名(男女問わず)							
	在生徒数	194名(男子125名、女子69名)				報	その他特徴	第4次募集を4月下旬に実施(平成31年度29名募集。平成30年度16名募集)								
	その他	東京都教育委員会人権尊重教育推進校		校服	指定なし	報	主な学校行事	体育祭・南定祭(文化祭)【隔年実施。今年度は文化祭】、弁論大会、演劇発表会、人権講演会ほか								
ホームページ					報	ホームページ	http://www.minamikatsushika-h.metro.tokyo.jp/									

目指す学校 人権教育の推進を中心に据え、生徒一人ひとりの個性を尊重し、4年間での高等学校卒業と希望進路の実現を支援する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	人権教育と親身な指導で基礎学力と人権意識の向上を図る ○「わかる授業」で基礎学力を向上させる。人権意識を高めるために、教科「人権」や「同和教育講演会」等を行う。 ○長期欠席や不登校の生徒に対応するために、ホームルーム担任がスクールカウンセラーと連携し、面談指導や家庭訪問をきめ細かく行う。	中途退学者数は若干減少した。人権教育は、様々な講演講師を招聘し、生徒と教職員の人権意識の高揚を図った。「わかる授業」「できる授業」を目指して基礎的な内容を丹念に指導している。主体的な学びや対話的な学びを目標に生徒に授業参加を呼びかけている。 長期欠席・不登校の生徒への対応については、家庭への電話連絡だけではなく、担任が家庭への訪問を行い、SCや担任等が連携し、「ケース会議」や情報交換会を行っている。また、不登校生徒の保護者に対するSCによるカウンセリングなども行っている。今後も、中途退学者の減少に向けて対応を継続していく。	
目標②	生徒の学校生活の安定を図り学校生活満足度を向上させる ○生徒の修学資金面における安定を図るために、面談指導の充実や奨学金制度等の積極的活用を促すとともに、ハローワーク等とも連携しながら、就労支援を行う。 ○生徒の学校生活満足度を向上させるために、ホームルーム活動、学校行事、部活動の充実・活性化を図る。	学校生活の安定に向け、安心して生活できる家庭生活の基盤作りのために、担任等が経営企画室と連携して就学支援金や奨学のための給付金の申請手続き等を援助し丁寧に対応した。 また、安定した就学を保証するために就労支援も行った。外国籍の生徒には、教員が、ハローワークにおける就労支援に同行するなど様々な支援を行った。 学校生活の満足度を高めるために、学校行事と部活動の活性化を目指した。学校行事では南定祭に近隣住民が多く来校するなど盛り上がった。生徒会活動や部活動も参加生徒が増え充実してきている。	
目標③	きめ細かな進路指導により進路決定者を増加させる ○生徒の希望進路の実現のために、ハローワーク、大学、専門学校等の関係機関と連携し、進路行事の充実を図る。 ○進路相談の体制を充実させるために、ホームルーム担任と進路指導部が一体となって、「総合的な学習の時間」等を活用したきめ細かな進路指導を行う。	日頃、アルバイトに専念している生徒に正規雇用の意義を伝えるのに苦労しているが、学年担任と進路指導部が一体となって取組み、高校卒業という枠で新しく就職先を探す意義が伝わり始めた。進路決定率も77%に上昇した。 就職活動において1社目に不採用でも再度チャレンジする気持ちを持続させるよう教員全体でサポートする体制を作った。進路意識を高め、早い時期から就職活動をスタートさせるよう取り組ませていくことが課題であるが、早くから進路ガイダンスを実施するなど進路指導部を中心に課題解決を図るよう取り組んだ。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	中途退学率	10%	7%	10%	8%	10%	11%	10%	11%	8%	8%	8%
目標②	学校評価における生徒の学校生活満足度	70%	68%	70%	76%	70%	71%	75%	77%	75%	75%	75%
目標③	卒業時進路決定率	70%	70%	70%	72%	70%	73%	70%	77%	70%	70%	70%